

## 令和4年度 園内研究実施計画書

### 1 研究主題

夢中になって遊び込める子どもをめざして  
～教師の援助のあり方～

### 2 主題設定の理由

本園の幼児は、素直でいろいろなことに興味をもち、何だろう、やってみよう自分から周りの環境にかかわっていきこうとし、自分のしたいことを伸び伸びと楽しむ子ども達の姿がある。その一方で、友達や周りの環境にかかわっていくことに不安を感じ動き出せずいたり、遊びに対して受け身であったり、できないと思うとすぐに諦めて遊びが続かなかったりする姿がある。

子ども達は、遊びの中でいろいろな環境や人にかかわり、その中で様々な感情体験をすることを通して、「何だろう」「やってみたいな」と心を動かし、自ら遊びを進めていきこうとする意欲へとつながると考える。またそのような直接体験の中で、友達同士がお互いの考えを言葉で伝え合い、試行錯誤しながら遊びを進めていくことで、より深く考え、遊びがより充実することにもつながると考える。昨年度は、教師が先回りして環境を設定したり、必要以上に言葉をかけたりすることがあり、そのことで幼児が自ら考える機会を減らしていることがあったと研修の振り返りをする中で気づかされた。

そこで、幼児が夢中になって遊び込めるために、どのような環境を構成するとよいかを探るとともに、幼児が自ら主体的に目的に向かって考えたり、工夫したりして遊びを充実できるようにするためにはどのような教師の援助が必要かについて探っていきたいと考え、主題を設定した。

### 3 研究内容及び方法

#### ①研究内容

##### ○遊び込む姿とは

- ・安心できる環境の中でいろいろな遊びに興味をもち、してみたいと感じる。
- ・自分でしたい遊びを見つけて遊ぶ。
- ・自分からいろいろなことに興味をもち、いろいろなことをしてみようとする。
- ・自分から進んで遊びに取り組んだり、目的をもって遊んだりする。
- ・繰り返し遊ぶ中で試したり、工夫したりしながら遊ぶ。
- ・友達と思いを伝え合ったり、協力したりして一緒に遊びを発展させていく。

##### ○幼児が遊び込めるための環境構成とは

- ・子ども達がやりたいことがすぐにできる環境。
- ・子ども達が経験した遊びを再現したり、工夫したりすることができる環境。
- ・お互いの遊びが感じられるような場を工夫する。

○幼児が遊び込めるための教師の援助とは

- ・いろいろと試したり，工夫したりできるような環境の保障。
- ・幼児の思いや動きに寄り添い，自らの気づきを待ち，一緒に考える姿勢。

上記のような環境構成及び教師の援助が必要であると考え，研究をすすめていきたい。

## ②研究方法

○実践記録の検討

- ・記録を通して，保育の振り返りを行う。
- ・子どもの姿を共通理解し，よりよい保育や援助につなげる。

○公開保育

○家庭，地域との連携

- ・保護者への働きかけを密にし，園と家庭とのつながりを深める。
- ・天栄中学校区の幼小中連携にて子どもの育ちをつなげる。

## 4 年間研修計画

一 学 期	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究主題の設定と研修計画の立案</li><li>・学年のねらいと個のねらいの設定</li><li>・教育課程の作成と検討</li><li>・実践記録の検討と個人記録の整理</li><li>・園内研究保育</li><li>・1学期の反省とまとめ・課題の共有</li></ul>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"><li>・実践記録の検討と個人記録の整理</li><li>・研究会への参加と還元学習</li><li>・小学校と交流会打ち合わせ・事後反省</li><li>・中学校英語科教員と美術科教員による出前授業の打合せ・事後反省</li><li>・ゲストティーチャーとの交流</li><li>・2学期の反省とまとめ・課題の共有</li></ul>
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"><li>・実践記録の検討と個人記録の整理</li><li>・1年間の反省とまとめ及び次年度への課題の検討</li></ul>